

第 119 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 5 年 3 月 8 日 (水)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 7 人
 - 出席委員の氏名 (敬称略)
 - 今井陽子 / 小澤健一 / 風間まり子
 - 佐藤正幸 / 清水一希 / 高井俊一郎 / 富田充慶
 - 欠席委員の氏名 (敬称略)
 - 相京恵 / 風間隆之 / 竹中隆
 - 松田和也 / 吉井照雄 / 吉村巳之
 - ラジオ高崎 4 人
 - 代表取締役社長 大山駿作
 - 専務執行役員 関口高史
 - 執行役員放送局長 田野内明美
 - 執行役員放送部長 吉良武夫
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 「高崎オーパショップチャンネル」について
(1 月 27 日および 3 月 2 日の本放送済み音源)
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和 5 年 3 月 19 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役社長大山駿作より挨拶。
- ・執行役員放送局長田野内明美より特別番組の紹介。
- 高崎芸術劇場大友直人 Presents T-ShotVol.9 東亮汰ヴァイオリン・リサイタル生放送 (12/24)
- クリスマス特番「One from the Heart 《TAKASAKI》」(12/24、再 1/10、1/15)
- クリスマス特番「トナカイたちのホリデーパーティ」(12/25)
- 高崎新聞でふりかえる今年の高崎 (12/31)
- &RADIO 大晦日だヨ！全員集合 3 時間 SP (12/31)
- 新春特別番組「高崎だるま市」(1/1)
- 新春対談 2 0 2 3 (1/1、再 1/2、1/5、1/7)
- ラジオ高崎プレミアトーク 鏡リュウジ×JILL(PERSONZ)～星からのメッセージ (1/1、再 1/4、1/8、1/15、1/18、1/22、1/29)
- ジネット・アウ特別インタビュー (1/6、再 1/12、1/22)
- ジネット・アウの Somebody to Love (2/4)
- FLYING KIDS 浜崎貴司のシンジュクライブ 7 6 2 (2/18、再 2/26)

今後放送予定の特別番組

- 二葉の部屋 (出演：落語家 桂二葉 3/12 他)
- 第 36 回高崎映画祭授賞式生中継 (3/19)

※審議対象

【素材名】「高崎オーパショップチャンネル」

【内 容】昼ワイド番組「LUV×CUL (ラブカル)」木曜日 12:40 から 15 分間のゲストコーナー (翌日金曜日 13:15 から再放送)。高崎 OPA の提供番組。
高崎 OPA3 階ラジオ高崎メディアスタジオでの生放送に、高崎 OPA 各ショップの担当者が出演。商品やサービスをラジオと OPA ビジョンで分かりやすく紹介する。審議対象は、1 月 27 日および 3 月 2 日日本放送音源。

【放送日】令和 5 年 1 月 27 日(木) 12:40～12:55、1 月 28 日(金)13:15～13:30 (再放送)
令和 5 年 3 月 2 日(木) 12:40～12:55、3 月 3 日(金)13:15～13:30 (再放送)

- ・番組説明と OA 素材試聴のあと、他の番組も含めて広く意見を求めた。

委員各位の意見

「高崎オーパショップチャンネル」について

○動画・静止画など視覚情報は OPA ビジョン以外に出せないだろうか。ラジオ放送に合わせてリアルタイムに動画や静止画を見られるようにすると大変分かりやすい。SNSでの視覚情報の発信を強化するのが望ましい。

(事務局) 放送後にツイッターなどのSNSでスタジオの様子を紹介している。生放送中の視覚情報発信も検討したい。

○高崎 OPA 屋外ビジョンに映像を出すのは商品の様子が分かるのでよい取り組み。ただ、実際に足を止めて画面を見ている人がどの程度いるのか。通行人が足を止める工夫が必要だと思う。

(事務局) 足を止めてもらえるような見せ方の工夫を検討したい。

○高崎 OPA 館内に放送を流してはどうか。館内に流れると来店客により PR になる。また、違うフロアのショップ情報に接することができるので、ショップ同士のコミュニティができるかもしれない。映像も館内のモニターで流すと効果的だと思う。

(事務局) 高崎 OPA と協議したい。

○言葉で伝えるのがラジオの魅力。商品やスタジオの様子を紹介を視覚情報に頼るのではなく、まずは言葉でどのように伝えるのかを考えるべき。打ち合わせを綿密にしたり、セリフを決めておいたりするのもひとつの方法。こういったことを積み重ねて表現を磨いていけば、ラジオ放送のクオリティが上がっていく。

○ラジオを聴いて商品に興味を持った方が午後の買い物ついでに店舗に出掛けられる。お昼の放送時間帯はとてもよい。

○高崎 OPA 内の店舗は限られており、紹介する情報が次第に少なくなっていくことが懸念される。どのように番組を制作していくかしっかり検討する必要がある。

○高崎オーパシヨップチャンネルが始まった経緯を知りたい。

(事務局) ラジオ高崎のスタジオが高崎 OPA のテナントであり、高崎の街のために一緒に出来ることはないかと考えた。その中で始まった企画である。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

○新型コロナウイルスの爆発的な感染が収まり、マスク着脱の判断も個人に委ねられる場面が増えてきた。また、イベントやコンサートも多く開催されるようになってきている。コロナ収束、マスク着脱、活発になるイベントなど、高崎の「今」をしっかりとらえて放送してもらいたい。

○「e スポーツ」は、老若男女、健常者・障害者の差がない。イベントを実施しても多くの観客が集まり、いわゆる「波」が来ている状態。ラジオ高崎で、e スポーツとの関わりを考えてみてはどうか。

(事務局) e-sports は映像があることが前提で、どのようにラジオで取り上げるべきか悩ましいところ。アイデアがあればご提案頂きたい。

○常に新しい地域情報の発信に取り組んで欲しい。

・専務執行役員関口高史より

高崎映画祭授賞式特別番組および映画祭実施概要の報告。

・代表取締役社長大山駿作より

番組審議委員の意見をしっかりと検討し、より良い番組づくりを進めていく。

以上